

# サイエンスアゴラ 2019

日本工学アカデミー(EAJ)パネル討論パネリスト

**佐藤 大吾** 一般財団法人ジャパングビング代表理事、NPO 法人ドットジェイピー理事長

自己紹介:

73年大阪生まれ。大阪大学法学部在学中に起業、その後中退。98年、若年投票率の向上を目的にNPO法人ドットジェイピーを設立。議員事務所、大使館、NPOなどでのインターンシッププログラムを運営。これまでに3万人の学生が参加、うち約100人以上が議員として活躍。10年、英国発世界最大の寄付サイト「JustGiving」の日本版(現 ジャパングビング)を立ち上げ、国内最大の寄付サイトへ成長。日本における寄付文化創造にも尽力。



**幡宮 慎太郎** JXTG エネルギー株式会社 機能材カンパニー

機能材研究開発部フィルム技術グループ

自己紹介:

2015年に東京大学 工学部 化学システム工学科卒(量子科学計算を使った有機半導体分子の解析)、2017年に修士課程修了(有機半導体薄膜のプロセス・構造・物性制御の研究)、化工学会 最優秀学生賞を受賞。2017年にJXTG エネルギー入社し、現在は長野県の工場にて新製品の開発に従事。



後輩へのアドバイス:

進路や仕事を考える上では、まずその内容を“知ること”がスタートラインになると思います。様々なバックグラウンドを持った人の話を聞いて、ご自身が興味を持てる、やってみたいと感じることを探していきましょう。

**平賀 涼子** 株式会社 ALE メカニカル・エンジニア

自己紹介:

2012年 Trinity College Dublin(アイルランド)工学部を卒業後、ビジネスの側面から日本の航空・宇宙業界への貢献を志しデロイトトーマツコンサルティングに入社。エンジニアとして、より技術に近い立場での仕事に憧れ、専門性を高めるため2016年より京都大学工学研究科にて修士課程を開始。地球周辺の宇宙環境(ヴァン・アレン帯)に関する研究に従事。2018年3月、株式会社 ALE に入社し、現在はメカニカル・エンジニアとして人工衛星開発チームに所属。



後輩へのアドバイス:

皆さんは将来の仕事に対し何を重視しますか。皆さんにはこれから多くのチャンスが訪れます。そんな中、どうやって一つの仕事を選びますか。私が大切にしたのは、「好きを貫く」ことでした。現在私は、昔から大好きだった宇宙の仕事に従事する中で、どんな困難な局面でも興味を持って取り組むことができ、それを一つの大きな強みだと感じています。皆さんが好きだと思うこと、興味があること、心がワクワクすることを今後も忘れないでください。

**依田 みなみ** 電気通信大学 大学院 博士後期課程 1年

自己紹介:

物心ついた頃からコンピュータのしくみに関心をもち、プログラミングを楽しむ。2017年に修士(工学)を取得後、トヨタ自動車(株)に入社。コネクティッドカーの車載Linuxの開発に従事。現在、学生に戻ってIoTのセキュリティとプライバシーについて研究中。



後輩へのアドバイス:

ご来場いただいた皆さんは、私よりもずっと優秀だと思います。ぜひその才能を伸ばし続けてください。そして伸ばした才能は、自分の為はもちろん、誰かのためにも使ってみてください。誰かのために使ってみると、新しい・嬉しい発見があるとおもいますよ!

以上